

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【公表番号】特表 2008-535377 (P2008-535377A)  
 【公表日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-034  
 【出願番号】特願 2008-504060 (P2008-504060)  
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

H 0 3 G 3/20 (2006.01)

H 0 3 G 3/30 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/16 R

H 0 3 G 3/20 E

H 0 3 G 3/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 18 日 (2009.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウォームアップ時間と該ウォームアップ時間に関連する受信路とを有する高周波 (R F) 受信機回路における方法であって、該 R F 受信機回路は利得と該利得に関連するベースバンド路とを有する少なくとも 1 つのベースバンド・アナログ利得制御段を含み、該方法は、前記ウォームアップ時間中に D C 補正計算処理を実行して、少なくとも 1 つの利得制御段の各々に対して第 1 の成分および第 2 の成分を有する D C 補正値を得るステップを備え、前記ウォームアップ時間中に D C 補正計算処理を実行するステップは、

前記ベースバンド路の第 1 の閉ループ補正を実行して、前記 D C 補正値の 前記 第 1 の成分を得るステップと、

前記受信路の第 2 の閉ループ補正を前記ウォームアップ時間中の利得に応じて実行し、前記 D C 補正値の 前記 第 2 の成分を得るステップとを含む、方法。

【請求項 2】

高周波 (R F) 受信機回路であって、該 R F 受信機回路に関連するウォームアップ時間を有する R F 受信機回路において、

少なくとも 1 つのベースバンド・アナログ利得制御段であって、該少なくとも 1 つのベースバンド・アナログ利得制御段に関連する利得を有するとともに、該利得を制御する制御信号を受信するための第 1 の入力と、第 2 の入力と、出力とを有する少なくとも 1 つのベースバンド・アナログ利得制御段と、

前記少なくとも 1 つの利得制御段に結合され、前記制御信号を生成し前記少なくとも 1 つの利得制御段に供給するための自動利得制御回路と、

前記少なくとも 1 つの利得制御段に結合され、該少なくとも 1 つの利得制御段からの情報を受信するための D C オフセット補正回路と、を備え、

前記ウォームアップ時間中、前記少なくとも 1 つの利得制御段の第 2 の入力のアースに結合されて、第 1 の閉ループ補正が実行されて D C 補正値の第 1 の成分が得られ、該 D C 補正値の該第 1 の成分が前記 D C オフセット補正回路に記憶される、R F 受信機回路。